電気設備学会論文誌への論文等投稿の手引き

本学会論文誌へ掲載する論文、研究速報及び技術資料（以下、論文等という。）は、論文等投稿の手引きにより、運用処理されますので、本手引きをご一読の上、学会ホームページよりご投稿ください。

論文等は、査読の上、電気設備学会論文誌（J-STAGE：科学技術振興機構）に公開となります。

☆より多くの方のご投稿をお待ちしております。

更新日：2025年4月1日

論文等投稿の手引き

1. 投稿者の資格

論文等の投稿者のうち筆頭者は、一般社団法人電気設備学会（以下、「当学会」という。）の正会員又は准会員であることを原則とする。投稿時に筆頭者が非会員の場合は、掲載時に当学会の正会員又は准会員であること。

2. 論文等の受付及び掲載

当学会へ投稿される論文、研究速報、技術資料及び誌上討論（以下、「論文等」という。）は、原則として Web 投稿システムより受け付ける。査読結果に基づき、論文等は、電気設備学会論文誌（以下、「論文誌」という。）に掲載され、J-STAGE（(国研)科学技術振興機構）で公開される。ただし、論文誌は電子媒体のみとする。

3. 著作権及び出版権

論文誌に掲載される論文等の出版権は当学会に属し、著作権も原則として当学会に帰属する。

投稿者は、次の事項を了解のもとで投稿すること。

(1) 論文誌に掲載された論文等を原著者自身が、著作権法第 21 条から第 27 条までの規定に基づく著作権の

利に準じて利用（翻訳、翻案、複製など）する場合は、当学会は異議申立てなどの妨げをしない。ただし、掲載された論文等をそのまま他の著作物に転載する場合は、出版権にかかわるので当学会に申し出ること。
(2) 論文誌に掲載された論文等に第三者から著作権法第 21 条から第 27 条までの規定に基づく著作権利用（複製、翻訳引用など）の申請があった場合は、当学会は応諾が望ましいと認めた場合は申請に応じることができる。

4. 論文等が具備すべき条件

論文等が具備すべき条件は、以下とする。また、内容は電気設備学会倫理綱領を遵守し、投稿者の所属機関の倫理規定に準じて作成するものとする。

4.1 論文

電気設備工学の発展に寄与する研究の成果及び電気設備の設計、施工等の開発研究の成果の報告であって、客観性を有するとともに、次の条件をすべて満たすものとする。

① 次のいずれかを満たすものであること。

- (a) 創意が認められること。
- (b) 発見又は新しい知見が認められること。
- (c) 学術あるいは技術の発展に役立つ有用性が認められること。

② 明白な誤りがないこと。

③ 他の公開刊行物に未発表のもの。ただし、次のいずれかに該当するものは、この限りではない。

(a) 投稿前に本学会が主催もしくは他の学会と共催する各種大会あるいは研究会及びこれに準ずる内外の集会で発表された内容を含む論文で、著作権法上、問題のないもの。

(b) 研究速報として既に電気設備学会誌又は論文誌に掲載された内容を発展させた論文。

④ 他の学会等に未投稿のもの。

⑤ 掲載ページ数は、6ページを標準とする。ただし、追加4ページまでは認める。

ここでいう「公開刊行物」とは、国内外の学会誌・書籍・雑誌並びに官公庁及び大学等の機関誌等をいう。

4.2 研究速報

論文に準ずるもので、電気設備工学に関する研究の核心についての速報であって、客観性を有するとともに、次の条件をすべて満たすものとする。

① 次のいずれかを満たすものであること。

- (a) 創意が認められること。
- (b) 発見又は新しい知見が認められること。
- (c) 学術あるいは技術の発展に役立つ有用性が認められること。

② 明白な誤りがないこと。

③ 他の公開刊行物に未発表のもの。ただし、投稿前に当学会が主催もしくは他の学会と共催する各種大会あるいは研究会及びこれに準ずる内外の集会で発表された内容を含むもので、著作権法上、問題のないものはこの限りでない。

④ 他の学会等に未投稿のもの。

⑤ 掲載ページ数は、2ページとする。

ここでいう「公開刊行物」とは、国内外の学会誌・書籍・雑誌並びに官公庁及び大学等の機関誌等をいう。

4.3 技術資料

電気設備の技術上価値ある調査等の成果の報告であっ

て、次の条件をすべて満たすものとする。

① 明白な誤りがないこと。

② 他の公開刊行物に未発表のもの。ただし、次のいずれかに該当するものは、この限りではない。

(a) 投稿前に当学会が主催もしくは他の学会と共催する各種大会あるいは研究会及びこれに準ずる内外の集会で発表された内容で、著作権法上、問題のないもの。

(b) 研究速報として既に電気設備学会誌又は論文誌に掲載された内容を発展させたもの。

③ 他の学会等に未投稿のもの。

④ 掲載ページ数は、6ページを標準とする。ただし、追加4ページまでは認める。

ここでいう「公開刊行物」とは、国内外の学会誌・書籍・雑誌並びに官公庁及び大学等の機関誌等をいう。

4.4 誌上討論

論文誌に掲載された論文等に対する質疑討論及びそれに対する原著者の回答であって、次の条件をすべて満たすものとする。

① 明白な誤りがないこと。

② 掲載ページ数は、原則として1ページとする。

5. 論文等の掲載料

掲載料等は、次のとおりとする。

5.1 掲載料（税別）

① 論文及び技術資料の場合は、1件当たり6ページまでは30,000円とし、6ページを超過した分については1ページ当たり5,000円を加算する。

② 研究速報の場合は、1件当たり10,000円とする。ただし、誌上討論の場合は、掲載料を必要としない。

5.2 別刷

① 論文誌へ掲載された論文等については、J-STAGE（(国研)科学技術振興機構の公開サービス）より、PDF版を無料ダウンロードすることができる。

② 当学会に別刷を希望する場合は、実費とする。この場合は、最終原稿提出時に必要部数を申し込むこと。

6. 執筆の手引き

6.1 一般

論文誌に投稿する論文等は、以下の事項を十分に考慮の上、当学会ホームページに掲載しているテンプレートを使用して、原稿を作成すること。投稿論文等が掲載可となった場合、論文誌としての統一を図るために、編集上の修正を求められることがある。

- ① 言語は、日本語又は英語で執筆すること。
- ② 原稿は、論旨・文脈が明瞭（論理的）、かつ、簡潔に表現した完成度の高い文章（構成）で、一般性のあることを明らかにする内容とする。
- ③ 原稿は、誤字・脱字等を極力排除し、十分な文章の推敲の後に投稿すること。

6.2 原稿の書き方(ホームページの論文作成見本及びテンプレート参照)

- ① 原稿はA4サイズであり、余白は、上26mm、下24mm、左右各17mmとする。1ページの文字数は1行26文字×44行、2段組。間隔は10mmとする。
- ② 文字の大きさ(文字の大きさを表すポイントとは、以下ポと記す)及び書体は、各項目の並びに[9ポ、明朝]、[10ポ、ゴシック]のように指定してあるので、これに従うこと。
- ③ 表題等

表題等は見本に従って、①～⑥の順序に記入し、本文を書き始めること。

- (a) 表題[22ポ、ゴシック]は、40字以内とする。
- (b) 会員種別等は、会員種別[9ポ、明朝]、氏名[14ポ、明朝]、所属[9ポ、明朝]とし、2名までは横に並べて記載する。なお、3名以上の場合には複数行にする。会員種別は、正会員、准会員、非会員と記載する。
- (c) 英文による表題は、[11ポ、Times New Roman]ボールドとする。
- (d) 英文による会員種別、氏名、所属は、[9ポ、Times New Roman]とする。会員種別は、正会員、准会員、非会員をそれぞれ Member、Sub-member、Non-member と記載する。
- (e) 論文内容を表すキーワードは、5語以内の日本語キーワードを、1語ごとにカンマで区切り記載すること。「キーワード」という文字は[8ポ、ゴシック]、キーワードは[8ポ、明朝]とする。

(f) 英文アブストラクト[9ポ、Times New Roman]は、200語以内で記述する。

④ 本文

- (a) 本文[10ポ、明朝]は、簡潔な口語体とし、原則として「公用文の書き表し方の基準(文化庁編)」により記述すること。漢字は常用漢字表、仮名は平仮名(外来語は片仮名)で現代仮名遣いによる。
- (b) 単位記号はローマン体(立体文字)、量記号はイタリック体(斜体文字)を使用する。
- (c) 術語、物質名、単位などは、原則として「学術用語集(文部科学省)」、「JIS用語集(日本規格協会編)」等による。
- (d) 項目の分け方は、次の例による。

章と節の場合

- 1. △△△△ [10.5ポ、ゴシック]
- 1.1 △△△△ [10ポ、ゴシック]

項の場合

- (1) □□□□ [10ポ、明朝]
- ① □□□□ [10ポ、明朝]
- a. □□□□ [10ポ、明朝]

⑤ 図、表、数式

(a) 図(写真も含む)

- i 図は、片段使用の場合は横幅83mm以下、全段使用の場合170mm以下にし、縦方向は任意とする。簡潔にまとめること。
- ii 図の番号は、通し番号を付け、その下部に図1、図2(a)、図2(b)・・・、Fig.1、Fig.2(a)、Fig.2(b)・・・、等とし、その図題を日本語と英語で記載すること。

[記載例]

図1 電動機と保護継電器特性

・・・・・・ [10ポ、ゴシック]

Fig.1 Motor and protective relay characteristics

・・・・ [9ポ、Times New Roman]

- iii 図中の文字、数字の大きさは[9ポ、明朝及びTimes New Roman]とする。

(b) 表

- i 表の大きさと書き方は、①と同様とする。
- ii 表の番号は、図と同様に通し番号で、表の上部

に表1、表2・・・、Table 1、Table 2・・・とし、その表題を日本語と英語で記載すること。

[記載例]

表2 実験装置仕様

・・・・・・・・・・・・・・・・ [10 ポ、ゴシック]

Table2 Specification for the experimental system

・・・・・・・・ [9 ポ、Times New Roman]

iii 表中の文字、数字の大きさは、9 ポを標準とする。

(c) 数式

i 数式ソフトを使用し、それ以外の場合でも、ローマン体（立体文字）とイタリック体（斜体文字）との区別を明確に書くこと。

ii 数式の番号は通し番号とし、番号を数式の右側に・・・ (1)、・・・ (2) のように記載すること。数式の左に2字分、右に1字分の空白を設けること。

[記載例]

$$\square \square y = \frac{(a+b)x^2}{c+d} \dots \dots \dots (1) \square$$

・・・・・・・・・・・・・・・・ [9 ポ]

⑥ 参考文献

引用した参考文献は、本文該当箇所の右肩に小さく□□⁽ⁱ⁾又は当該箇所の後に□□^[1]のように記載し、本文末尾に参考文献欄 [9 ポ、明朝] として通し番号を付け一括記載すること。参考文献の記載方法は、次による（[記載例] 参照）。

- ・論文等の場合：(番号)、著者名：「題名」、誌名、巻、号、ページ、発行年(西暦)
- ・著書の場合：(番号)、著者名：書名、発行所、ページ、発行年(西暦)
- ・著者名は、原則として全員のフルネームを記載すること。ただし、4名以上の場合は、第4著者以降は人数のみを記載して省略することができる。

[記載例]

(1)電気太郎，設備二郎：「電気設備の耐用年数」，電気設備学会誌，第8巻，9号，pp.676-678(1988)

(2)学会三郎：「地絡保護と接地技術」，本郷出版，p.45(1977)

(3)電気太郎，設備二郎，学会三郎，他3名：「電気設備における過電圧保護」，電気設備学会論文誌，1巻，1号，pp.1-6(2018)

(4)A.Podgorski and T. Smith、"Three Dimensional Time Domain Modeling of Lightning",IEEE Trans. PWRD Vol. 2, No.3, pp.931-936(1987)

⑦ 著者紹介

著者紹介[9 ポ 明朝]は、末尾に約140字以内にまとめ、顔写真(22×28mm)を所定の位置にデータで貼り付けること。

なお、研究速報の場合は、顔写真は不要とする。

⑧ 論文等の受付日

Web 投稿システムより、ログインの上、所定の手続きに従って初回投稿が完了した日付を受付日とする。なお、受付日は事務局で記入するので、原稿最終ページの受付日欄は空白にしておく。

6.3 英語による原稿

英語による原稿は、前項「6.2 原稿の書き方」に準じて執筆すること。表題等、アブストラクト、図、表、参考文献、著者紹介についても、日本語の場合に準じて執筆すること。

英語による本文は、[10 ポ、Times New Roman]とする。

6.4 論文等の投稿方法

① 投稿される方は、当学会ホームページの Web 投稿画面よりログインの上、画面に従って以下のとおり投稿する。【操作方法は「Web 論文投稿手順」を参照のこと】

- (a) 論文投稿用アカウントの作成(初回のみ)
- (b) ユーザ ID、パスワードの入力 (アカウント作成時に使用したもの)
- (c) ログイン

(d) Web 投稿要領の Web 論文投稿手順に従い、以下の入力及びファイルのアップロードにより投稿を行う。

手順1：種別、表題(タイトル)、要旨の入力

手順2：論文等ファイル及び投稿票ファイルのアップロード

手順3：キーワード、査読分野の入力

手順4：著者、共著者の入力

手順5：設問への入力

手順6：入力内容の確認・投稿

② 問合せ先

一般社団法人 電気設備学会論文委員会

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-6

TEL：03-6206-2720、FAX：03-6206-2730

ホームページURL：<https://www.iciej.or.jp>

メールアドレス：ronbun-dsg@iciej.or.jp

Web 投稿以外の場合は、ご相談ください。

7. 論文等の受付

投稿された論文等は、論文等投稿要領に準拠しており、明らかな間違いがない限り、論文委員会において受け付ける。

8. 論文等の査読

受け付けた論文等は、論文委員会が選任した複数の査読員に査読を依頼する。査読員は、別に定める論文等査

読基準に従って査読し、その査読報告に基づいて論文委員会は論文誌への掲載に関し、次のいずれかの判定をし、論文委員会委員長名で投稿者へ通知する。

- (1) 掲載可（そのまま掲載。ただし、編集上の修正を求めることがある。）
- (2) 条件付掲載（投稿者に修正を求めた上、掲載。）
- (3) 照会后判定（投稿者に照会して回答を求めた上、再判定。）
- (4) 掲載不可（投稿者に理由書を送付。）

前項の(2)又は(3)による照会后、90日を経過しても回答がない場合は、投稿者は棄権したものとみなす。

9. 異議申し立て

異議申し立ては、論文等の最終査読結果が「掲載不可」になり、その理由に承服できない場合、査読結果の連絡を受けた翌日から30日以内に、書面にて1回に限りできるものとする。